

指定管理者事業報告書（令和2年度末報告）

令和 3年 4月 30日 提出

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

施設名	三原市デイサービスセンターさぎうら		連絡先	084-928-0503
指定管理者団体	団体名	特定非営利活動法人 地域の絆		
	代表者名	代表理事 中島 康晴		
	所在地	福山市木之庄町四丁目5番25号		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
管理者 （生活相談員・介護職兼務）	1人（人）	1人	介護職員	1人（1人）	人		人（人）	人
生活相談員 （介護職兼務）	1人（人）	1人	調理員	1人（1人）	人		人（人）	人
看護職員 （機能訓練指導員兼務）	2人（1人）	1人		人（人）	人		人（人）	人
常勤職員（合計）	3人		非常勤職員 （合計）	3人				

2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 α	実績【年間実績】 β	達成率 $\beta \div \alpha$	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	月～金 第1,3土曜日	月～金 第1,3土曜日		A	A	計画どおりである。
開館日数(X)	267	282	105.6	A	A	計画以上に開館し、利用者の要望に応じている。
開館時間	8:00～16:00	8:30～16:00		A	A	計画どおりである。
延べ利用者数 (Y=a+b)	2,937	2,781	94.7	B	A	計画相当であり、コロナ禍での利用控えが考えられる中、昨年度よりも利用者が増えている。
うち通常業務(a)	2,937	2,781	94.7	B	A	計画相当であり、コロナ禍での利用控えが考えられる中、昨年度よりも利用者が増えている。
うち自主事業(b)	0	0	0	C	C	地域貢献及び利用者確保のためにも自主事業の展開を期待する。
延べ利用日数(Z)	267	282	105.6	A	A	計画以上に開館し、利用者の要望に応じている。
稼働率(①)	73.3	65.7	89.6	B	A	計画相当であり、コロナ禍での利用控えが考えられる中、昨年度以上の稼働率となっている。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式 $\frac{\text{利用者数}(Y) \div \text{開館日数}(X) \div \text{利用定員}(1日あたり \underline{15人})}{1} \times 100$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式 $\frac{\text{利用日数}(Z) \div \text{開館日数}(X)}{1} \times 100$

※2 稼働率欄の()内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	324	2,937		307	2,781	
合計	324	2,937	73.3	307	2,781	65.7

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 (243 日)			土日祝日 (39 日)			通年 (282日)		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	271	2,452		36	329		307	2,781	
							0	0	
							0	0	
合計	271	2,452	67.3	36	329	56.2	307	2,781	65.7

3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価		
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容	
1 施設管理体制	職員配置	A		A	問題ありません。	
	職員研修	B	法人内研修を行っているが参加できていない	B	職員数が少なく、研修参加により人員不足が予想されますが、オンラインを活用する等職員の資質向上に努めていただきたい。	
	利用促進業務	B	コロナ禍で思うようにできていない	B	コロナ禍の状況を見ながらも地域と連携し利用者確保に努めてください。	
	設備・備品管理	A		A	開設して20年を超えており、施設（空調）及び重要備品（特殊浴槽）の経年劣化が予想されます。	
	現金管理	A		A	問題ありません。	
	安全体制管理	A	センター内消毒の徹底	A	問題ありません。	
	緊急時の対応	A		A	問題ありません。	
2 利用者に関する業務	利用状況	B	コロナ禍で利用が難しい部分があるので体調管理の声掛けをする	B	コロナ禍により利用者都合での利用自粛があったと考えられる。コロナ対策を実施し適切なサービス提供を継続し、利用者確保に努めてください。	
	利用料金の設定	A		A	問題ありません。	
	接客対応	A		A	問題ありません。	
	個人情報保護	A		A	問題ありません。	
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	問題ありません。	
	清掃等維持管理業務	A		A	問題ありません。	
4 実施事業	企画運営事業	C	コロナ禍で地域交流事業の実施ができていない	B	コロナ禍で地域活動自体が自粛している状況がある。地域とのつながり、関係性を切らさないよう努めてください。	
	自主事業	C	コロナ禍で自主事業の展開ができていない	B	コロナ禍で地域活動自体が自粛している状況がある。地域とのつながり、関係性を切らさないよう努めてください。	
	通常事業の内容					
自主事業の内容						

4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入】 合計		31,178,667	36,039,643		<p>【収入】 36,039,643円 (昨年度33,388,708円) 介護保険料、食費・雑費、指定管理料及び 離島サービス補助で構成。</p> <p>【支出】 29,822,202円 (昨年度30,387,644円) 常勤職員の異動への対応のため非常勤職員 増員のため人件費が減額 ※人員確保のため随時募集しているが、新 たな雇用へと繋がっていない。</p> <p>【収支】 6,217,441円 コロナの特別措置による利用料の増額と、常 勤の異動で非常勤増員のため人件費が減額 となったことにより、黒字幅が大きくなっ た。</p>
利用料金	21,252,000	26,080,656	介護保険請求、利用者負担額		
自主事業収入					
指定管理料	9,166,667	9,166,667			
その他	760,000	792,320	その他補助金		
【支出】 支出		31,178,667	29,822,202		
人件費	常勤	14,000,000	9,073,125	常勤3名分	
	非常勤	10,000,000	10,413,920	非常勤3名+事務職員分	
事務費		500,000	806,659		
	消耗品費	500,000	806,659	事務・消耗品費 534,501・支払手数料 272,158	
	備品購入費				
事業費		2,458,667	3,623,103		
	通常業務	2,458,667	3,623,103	食材 901,476・研修費 214,705・旅費交通費 1,902,112・ 広告宣伝費 61,328他	
	自主事業		0		
施設維持管理費		2,500,000	2,776,151		
	設備管理費	100,000	358,515	衛生管理費他	
	保安警備費				
	光熱水費	2,100,000	2,107,756	電気代、水道代、ガス代	
	修繕費	300,000	309,880	車両含む	
その他		1,720,000	3,129,244		
	保険料	120,000	482,827	保険料・雑費	
	税金等	1,600,000	2,646,417	減価償却費・租税公課・その他税金他	
【収 支】		0	6,217,441		
支出のうち委託費			0		

5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
コロナ禍で施設運営を継続をしてよいか。（地域住民・包括ケアマネより）	施設内の感染対策の徹底（ソーシャルディスタンス・換気・消毒・マスク着用・検温の実施等）のもと業務を行っている。法人としては、厚生労働省の指針にもあるようにお一人でも支援の必要なご利用者がいれば、その支援が途絶えないように法人として対応する。	三原市にも確認の上、包括ケアマネ・地域住民に利用停止はしない旨を口頭で伝達した。	ご了解いただいた。	問題ありません。
コロナ禍で、通勤で島外から出入りをしていいのか。（地域住民より）	支援の必要なご利用者のため、施設内及び勤務外でも感染対策の徹底（上記対策）を行っている。	地域住民の方に口頭で伝達した。	ご了解いただいた。	問題ありません。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

6 運営上の課題，市への要望等(ご自由にお書きください。)

内容	担当課回答
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で対外的な活動が思うようにいかず、また、ご利用者・職員の感染対策等神経を使いながら支援を行っていた。今後も予断なく感染対策を継続していく必要がある。	介護保険事業所として、感染対策を実施し運営していただきたい。
昨年同様、島しょ部での人材確保に限りがあり、多くの利用者を増やし収支状況をとる事が難しい状況である。民間の努力だけではなかなか改善するには至らず、支援を受けながら運営をしていかざるを得ない状況である。特にコロナ禍の現状では活動自体も制限があり引き続き支援をお願いしたい。	法人として、利用者及び人材確保に引き続き努めていただきたい。市として支援できるものについては継続していく。
人材確保や財政面においても、事業所の広報活動が必要であるが、コロナ禍の影響や島しょ部の難しさもあるので支援をお願いしたい。	法人として、利用者及び人材確保に引き続き努めていただきたい。市として支援できるものについては継続していく。

7 市担当課総合評価

<p>離島という地域状況から、利用者が鷺浦町居住者に限定されている。利用者の拡大については、本土の施設利用者が多くおり、厳しい状況であると思われるが、昨年度に比べ延利用者数は26人増加している。コロナ禍において、利用控えが考えられる中、利用者数を増加させた事は評価できる。</p> <p>コロナ禍であり、地域活動自体が自粛傾向にある中ではあるが、自主事業を展開するなどして、利用促進及び地域との連携・協力・交流に取り組んでもらいたい。</p>
